

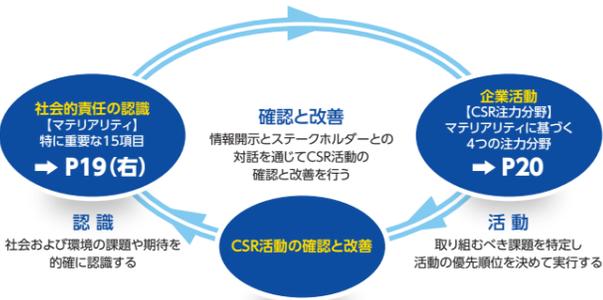
日立物流グループのCSR

日立物流グループは、人と自然を大切に、公正な事業活動を通じて、全てのステークホルダーの価値をともに高め、豊かな社会へ貢献していくことを基本理念としています。

● CSR推進の基本方針

日立物流グループは、経営理念のもと、持続可能な社会の実現をめざし、CSRと経営との融合を多様なステークホルダーとのコミュニケーションを通じて促進していきます。その実践の指針であるCSR推進の基本方針のサイクルを回していく中で、ESG(環境・社会・ガバナンス)情報の開示も積極的に進め、SDGsについてもさまざまなステークホルダーと連携し、達成に貢献していきます。

日立物流グループのCSR推進の基本方針



CSR推進の基本方針

<http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/profile/csr/management/>

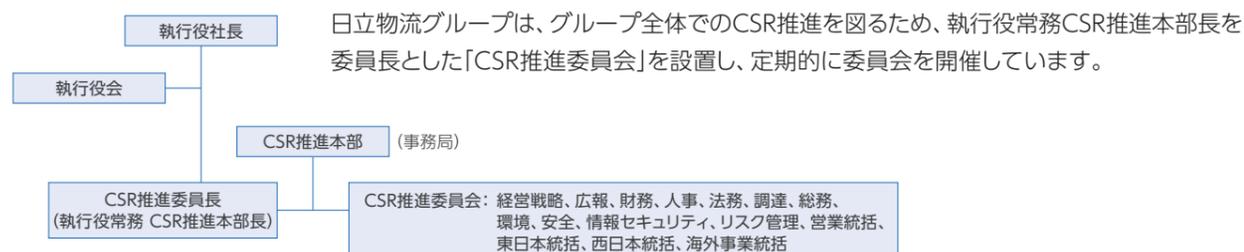
● 日立物流グループのSDGsへの貢献

SDGs(持続可能な開発目標)は、2030年に向けた国際社会共通の17の目標です。日立物流グループは、このSDGsへの取り組みの重要性を深く認識しています。SDGsの17の目標のうち、私たちのCSR注力分野と特に関連性の深い目標は、以下の8つです。CSR注力分野への取り組みの強化を通じて、SDGsの達成にも貢献していきます。

CSR注力分野と関連性の深い目標

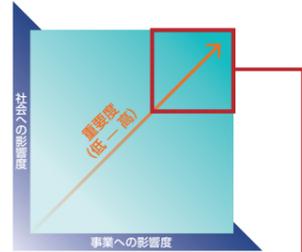


● CSR推進体制



● マテリアリティとCSR注力分野

社会および環境の課題や期待の的確な認識に向けて、日立物流グループにとって重要性の高いCSR課題としてマテリアリティを特定し、果たすべき社会的責任として認識しました。取り組むべき課題への活動にあたっては、マテリアリティに基づき、CSV(Creating Shared Value)視点を踏まえて優先的に取り組むべき4つのCSR注力分野を策定しました。その上で、具体的な活動テーマと評価指標(KPI)を設定しています(P20参照)。



■ 日立物流グループのマテリアリティ15項目

- **社会(Social)**
安心・安全な労働環境(労働安全衛生) / サプライチェーンでの社会・環境配慮(CSR調達) / 新技術(イノベーション、先進的テクノロジーの開発・活用) / ダイバーシティと人材育成 / 雇用創出(コミュニティにおける雇用促進) / 従業員との対話(労使関係、団体交渉) / 人権の尊重(グローバル人権課題への対応) / 品質と安全(サービスの品質と安全性) / 環境・社会に配慮した物流サービス
 - **環境(Environment)**
カーボン(低炭素) / 環境汚染の防止 / 再生可能エネルギー(クリーンエネルギーの活用)
 - **ガバナンス(Governance)**
コンプライアンス、ガバナンス / BCP(気候変動への適応含む) / 情報開示(事業の透明性)
- ※ BCP(Business Continuity Plan):事業継続計画。大規模災害発生時などにおいても基幹業務を継続、または早期に復旧するための計画。

● 日立物流グループのステークホルダー

日立物流グループの事業活動は、お客様、株主、地域社会、行政などさまざまなステークホルダーの皆様との関わりの中で成立・継続しています。



● 日立物流グループのCSR注力分野 — 取り組みと評価指標(KPI) —

2018年度に、2019年度から始動するCSR注力分野の活動テーマと評価指標(KPI)を設定しました。この指標に基づき、PDCAサイクルによる取り組みの強化を図っていきます。

関連するSDGs	CSR注力分野	活動テーマ	取り組み	評価指標(KPI)	関連情報記載先
8, 9, 11, 12, 17	1 次世代の産業やくらしの追求	(1)先進テクノロジーの駆動によるサプライチェーン全体最適化の促進 (2)地域の物流ニーズ・課題への対応および対応力の強化	物流プラットフォーム化の推進 事業ニーズに即応する研修開発 質の高い物流サービスの展開 サプライチェーンの整備と管理 社会インフラ関連設備の輸送推進	SSCV-safety機能の種類 ECプラットフォームの多拠点化 製販コントロール支援(需要予測)事例数 ブロックチェーン技術のユースケース拡張 データサイエンティスト育成講座受講者数 GDP®に適合した保管・輸送の実施 RFIDを活用したシステムの実装 社会インフラ関連設備の輸送実施	P14 P13, P36 P36 Webサイト*1 P36 Webサイト*2 アニュアルレポート2018 P32 P35
5, 8, 17	2 労働安全と生産性の向上	(1)操業・輸送時の安全確保 (2)物流現場の負担軽減 (3)多様な労働力の活用推進	労働安全衛生マネジメントの強化 運輸安全マネジメントの強化 物流センターでの自動化・省人化の推進 女性社員の計画的な育成 女性社員のキャリア形成支援	労働災害発生指数 / 度数率・強度率 交通事故件数(自動車事故報告規則第2条に規定する事故) 自動化・省人化設備の導入拡大 女性管理職比率 多様なロールモデル・キャリアパスの提示や女性管理職との交流会の実施 女性の活躍推進に関する管理職研修の実施	P18 P18, P26 / Webサイト P36 P17 / Webサイト Webサイト
9, 11, 13, 17	3 高い品質とレジリエンスの強化	(1)高品質な物流サービスの追求 (2)廃棄・排出への配慮 (3)災害支援への貢献	コンプライアンス体制の強化 情報セキュリティレベル / 管理体制の強化 BCP体制の強化 国内外の調達コンプライアンスの強化 大気汚染物質の削減 資源循環の促進 森林資源保護 BCP体制強化 地域社会貢献活動の実施	コンプライアンス強化のための施策の実施 情報セキュリティ教育受講率 標的型攻撃メール訓練の開封率 訓練の実施回数 海外BCPキャラバンの実施力所 国内外の調達担当者に対する調達コンプライアンス教育実施 基準に適合した車両の保有率 再資源化率 法令規程違反件数 水使用量床面積当たり原単位の低減 グリーン購入率 コピー用紙使用量削減率 災害発生時の従業員の行動基準周知 社会貢献活動指針に基づいた活動	P18, P50 P18, P51 P18, P51 P18, P51 P34 P17, P30 P17, P32 P17 P17 / Webサイト P17 P17 P18, P51 P18, P39, P40
7, 17	4 低炭素な事業プロセスの実現	(1)エネルギーの高効率化 (2)再生可能エネルギーの導入 (3)環境マネジメント強化	「建物」の電気使用量の削減 車両の燃費向上 ダブル連結トラックの導入推進 物流施設・輸送設備の共同利用等の推進 モーダルシフトの新規顧客 / 新規ルートの開拓 プラットフォーム化、配送拠点集約、ラウンドユース等による輸送効率化の積極的な推進	LED照明設備の導入拠点数 「建物」の床面積当たり電気使用量(2018年度比) 省エネ点検実施回数 車種別の車両燃費向上(2018年度比) ダブル連結トラックの導入支援 物流施設・輸送設備の共同利用の実施 新規顧客 / 新規ルートの開拓 共同輸送の新規実施 エコカー比率100%の継続 最新型エコカー比率 各拠点でのエコドライブ教育の実施 社内環境監査の実施 各拠点での自主的な環境活動の展開 環境管理システムの見直し 海外環境管理の強化 環境マネジメントシステムによる継続的改善の推進 従業員向け環境意識向上に向けた教育・啓発活動による理解の促進	P17, P30 P17, P30 Webサイト P30 / Webサイト P30 / Webサイト P30 P17, P31 / Webサイト P30 / Webサイト P30 P31 P31, P32 P17, P32 P32 P32 / Webサイト

Webサイト: CSR-環境 <http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/profile/csr/>
 Webサイト*1: 中期経営計画「LOGISTEED 2021」 http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/ir/library/presentations/pdf/midtermmanagementplan_190524jpR.pdf
 Webサイト*2: メディカルプラットフォーム <http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/3pl/joint/case1.html>
 ※GDP: Good Distribution Practice